

群馬県介護生産性向上取組方針

群馬県では、2029年度までに介護テクノロジー導入率90%を達成するため以下の3本を柱とし、生産性向上に取り組んでいく。

1. 介護現場革新会議を活用したPDCAサイクルによる検証

介護現場革新会議を活用し、群馬県内の介護現場の課題を踏まえた生産性向上の取組の進め方を検討し、方針等を取りまとめるとともに、取組の進捗等を確認する。

2. 介護職場サポートセンターぐんまによるワンストップ支援

介護職場サポートセンターぐんまにおいて、生産性向上の関連情報の収集・提供、相談窓口、専門家派遣の実施、研修会の開催等を実施することで、事業所の課題を明確化し、課題解決に向けた伴走支援を行う等、介護サービス事業所をワンストップで支援する。

3. 介護テクノロジー導入補助を活用した生産性向上支援

介護現場の生産性向上を一層推進するため、介護施設等が行う介護ロボット及びICT機器等の介護テクノロジーの導入に要する経費の一部を補助。機器の導入後も介護職場サポートセンターが活用状況を確認しつつ、課題解決に向け継続した支援を実施する。

【イメージ図】

